

高知県漁海況速報 H13 - 45号

平成14年2月12日

(集計期間 平成14年2月5日~2月11日)

高知県水産試験場

海況

黒潮は、都井岬南東沖で「かなり離岸」後、足摺岬南沖では31マイル(前週より11マイル離岸)付近にあって「やや離岸」、室戸岬南沖では18マイル(前週より8マイル接岸)付近にあって「接岸」で推移し、潮岬南沖でも「接岸」している。最新の衛星水温画像と黒牧13号の流況から、黒潮小蛇行の東端が足摺岬沖に差しかった模様。

表面水温は、四国沖の黒潮流域は20~21台、土佐湾沿岸域は16~17台とともに「平年並」で推移している。黒牧12号(高知沖)、13号(足摺沖)の週平均水温はそれぞれ16.8、20.7、黒牧10号(室戸沖)は欠測。

漁況

サバ漁(立縄、多鈎釣) : 大正礁及び室戸岬周辺の立縄・多鈎釣は前週並から上回る漁模様で推移し、甲浦へ19隻ゴマサバ1.6トン(1日1隻あたり平均8.4kg、3日間の集計)、室戸へ107隻ゴマサバ3.3トン(同31kg)、加領郷へ20隻ゴマサバ0.7トン(同35kg)。足摺岬周辺の立縄漁は、清水へ323隻ゴマサバ17.4トン(同54kg)の水揚げ。

ウルメ漁(多鈎釣) : 土佐湾の多鈎釣は、宇佐へ240隻ウルメ11.7トン(同49kg)、サ類3.5トン、マアジ0.2トン、加領郷へ115隻ウルメ4.4トン(同38kg)、マイワシ0.7トン(平均単価588円)。

カツオ・マグロ漁(曳縄、竿釣、延縄) : 曳縄漁は、ハガツオとヨコワ主体の漁模様。水揚げは加領郷へ12隻ハガツオ0.1トン(8kg)、清水へヨコワ59隻6.4トン(同108kg)、ハガツオ58隻1トン(同17kg)、延縄漁は、甲浦へ5隻クロマグロ2本、キハダシビ9本、メチドリマ130本、ヒナガ3136本、ガサ類6本。

メジカ漁(曳縄) : 足摺周辺のメジカ漁は、前週を上回る漁模様で推移し、下の加江へ347隻180.1トン(同519kg)、清水へ441隻189.8トン(同430kg)の水揚げ。

シラス漁(パッチ網) : 土佐湾のシラス漁は、田野浦でマシラス主体に27統7.1トンの水揚げ。春野は3統水揚げ僅か。錦浦はヒラゴの水揚げが続いている。

スルメイカ漁(夜釣) : 甲浦の夜釣り漁は、2隻水揚げ僅か。

大型定置網 : 芸東主要大敷(4組合集計)の総漁獲量は51トン、魚種別ではマイワシ19トン、サバ類12トン、マアジ7トン、メジカ5トン、ブリ1トン(メジコ級327本)他、幡多主要大敷(1組合集計)の総漁獲量は7トン。魚種別ではサンマ4トン、マアジ0.8トン、メアジ0.5トン他

まき網 : 宿毛湾周辺海域の中型まき網漁は、6統でウルメイワシ14.7トンの水揚げ(同2.5トン)。

予想

海況 黒潮は、足摺岬南沖では黒潮小蛇行の東進速度にもよるが離岸基調から徐々に接岸基調へ、室戸岬南沖では接岸から離岸基調へ推移しそう

表面水温は、黒潮流域では「やや高め」で、土佐湾沿岸域では「平年並」で推移しそう(平年値 黒潮流域約20、土佐湾沿岸域16台半ば)。

【近県情報】

三重県(2月8日付)の定置網でブリ40本、ワラサ9本が水揚げされた。和歌山県(2月8日付)の曳縄でトンボ98トン、カツオ18トン、定置網でブリ393kg、ワラサ130kg、船曳網でシラス4トンが水揚げされた。宮崎県(2月8日付)の曳縄で2.7トン(ヨコワ1.4トン、ヒナガ0.6トン他)、まき網で131トン(マアジ42トン、ウルメ31トン、マアジ28トン他)、船曳網は出漁船なし。



